



エベレストの山と隊員の行進 ©毎日新聞社

企画展

エベレスト初登頂を撮った男

日本山岳会

— 報道カメラマン 木村勝久 —



旗の元に整列 ©毎日新聞社



カメラをのぞく木村勝久

平成30年 3/17 土 ▶ 5/27 日

【開館時間】 平日 AM10:00~PM6:30
土・日・祝 AM10:00~PM5:00

【休館日】 月曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日 入場無料

坂東郷土館ミュージアム



坂東市立資料館 〒306-0502 茨城県坂東市山2726
TEL 0280-88-8700・0297-44-0055
<http://www.city.bando.lg.jp/page/dir000060.html>

日本山岳会 エベレスト初登頂を撮った男

報道カメラマン 木村勝久

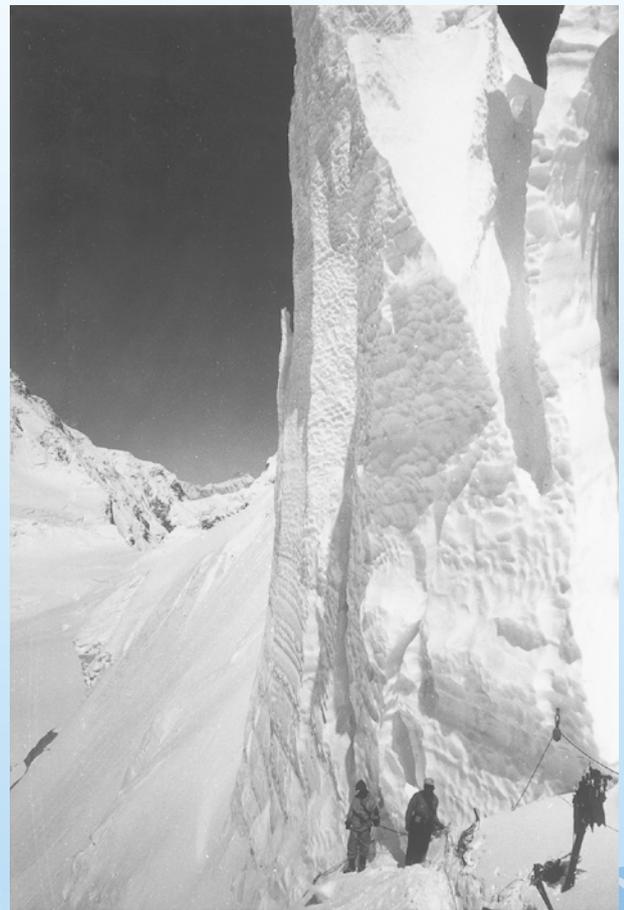


(上)エベレスト登頂成功祈願の寄書きが記された日の丸



初登頂を果たした植村直己から贈られたエベレスト頂上の石

(左)ヒマルチュリ峰とベースキャンプ



木村勝久は、1930(昭和5)年茨城県猿島郡岩井町に生まれました。県立水海道第一高等学校を卒業後上京し、日本大学芸術学部で写真の撮影技術を学びました。大学卒業後は毎日新聞社に入社し写真部員として活躍、未踏峰ヒマルチュリ登山(1959・1960年)及びエベレスト登山(1969・1970年)にカメラマンとして参加し、過酷な自然との闘いのなか、登山までの様子をくまなく記録しました。

今回の展覧会では、登山隊の記録写真や美しいヒマラヤの山岳写真、現地の風俗を記録した写真など数多くの貴重な写真資料を展示するほか、探検家・植村直己をはじめ交流のあった人々との関連資料なども展示し、写真家として活躍した木村勝久の業績を紹介します。



木村勝久(1930-2005)

1930年茨城県猿島町生まれ。日本大学芸術学部写真学科を卒業後毎日新聞に入社し、写真部員として活躍。山岳カメラマンとして1960年慶應義塾大学ヒマルチュリ登山隊の初登頂、1970年日本山岳会エベレスト登山隊初登頂に参加し、過酷な自然と闘う登山隊の様子を写真に収めた。1972年家業の貴金属店を継ぐため毎日新聞を退社。写真教室の講師なども務めた。2005年5月17日没。享年74歳。



毎日新聞社 写真部員時代の木村(中央)



登山隊に同行するポーターたち

巨大な氷壁をザイルを使って移動する隊員たち

